

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3	2	必修
担当教員			
蜂須賀 のぞみ、藤原 政嘉			
金3、金4			
添付ファイル			

科目の概要	栄養教育論 I におけるねらいは大きく2つあり、「栄養教育の意義および、目的に応じた行動変容の基礎となる学習理論とカウンセリングなどの技術について理解することができること」と、「社会・生活環境や健康・栄養状態の特徴に基づいた基礎的な栄養教育計画を展開することができること」である。食育推進計画や健康日本21（第2次）の取り組みから栄養的な課題をつかみ、それらを改善するための栄養教育を学習理論やカウンセリングなどの技術を使って栄養教育計画を立案することができる。これらの方法を習得する。
授業の内容	<p>第1回 オリエンテーション（授業の進め方・成績評価の説明など） 栄養教育の概念、栄養教育の定義、対象について説明する。</p> <p>第2回 栄養教育と介入 栄養教育と介入について説明する。</p> <p>第3回 栄養指導・栄養教育の法的根拠 食育基本法など、栄養教育の法的根拠について説明する。</p> <p>第4回 管理栄養士・栄養士の役割 栄養教育と管理栄養士・栄養士の役割について説明する。</p> <p>第5回 栄養教育と社会・生活 栄養教育の歴史・近年の栄養教育について説明する。</p> <p>第6回 栄養・食生活と食環境づくり 栄養・食生活と食環境づくりについて説明する。</p> <p>第7回 栄養教育に関連する生活指導① 栄養教育に関連する生活指導、運動、休養について課題を概説する。</p> <p>第8回 栄養教育に関連する生活指導② 栄養教育に関連する生活指導、飲酒対策、喫煙防止指導について課題を概説する。</p> <p>第9回 栄養教育マネジメント 栄養教育マネジメントについて説明する。</p> <p>第10回 栄養アセスメント 健康・食物摂取に影響を及ぼす要因のアセスメントについて概説する。</p> <p>第11回 栄養診断 栄養診断について説明する。</p> <p>第12回 栄養教育計画・実施 栄養教育計画・実施について説明する。</p> <p>第13回 学習指導案 学習指導案の作成について説明する。</p> <p>第14回 栄養教育の実施 栄養教育の実施について概説する。</p> <p>第15回 栄養教育の評価、まとめ 栄養教育の評価について概説する。</p> <p>定期試験</p>
学習到達目標	食育推進計画や健康日本21（第2次）の取り組みから、生活習慣の栄養的な課題をつかみ、主体的に考えることができるようになる。 栄養教育の意義および、社会の変化について知り、理論的に述べることができる。 栄養教育を実践するためにアセスメントの方法や教育目標の設定、教育内容やその評価の種類などを学び、理解できるようになる。
授業の方法	講義形式を主とし、ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーションを随時取り入れる。
成績評価の方法	小テスト（15%） 定期試験（55%） 課題提出（25%） 授業への参加態度（5%）
教科書・テキスト	栄養科学シリーズ 栄養教育論 笠原賀子、斎藤トシ子編 講談社サイエンティフィック
参考書	食育白書等
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	食育に関する情報に着目し、目を通しておくこと。

履修上の留意事項	前もってテキストを読んでおくこと。
オフィスアワー	授業時間の後に講師控室で連絡
担当教員への連絡方法	e-mail n-hachisuka@osaka-aoyama.ac.jp
その他	